

2016 年度事業報告書 (期間：2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド

1 事業実施の方針

被災地や紛争地及び開発途上国の子ども達、障がい者、貧困層の人々に対して、スポーツや教育、その他の活動を通じて自立につながる事業を行い、苦境に立ち向かう人々や子ども達が人生にチャレンジするための「希望と勇気」を持つことができる機会創造に寄与することを目的とする。特に、途上国の人々が自分たちのかかえる問題を自らの力で解決していけることを目指し、彼らの視点に立って、彼らと共に人材育成に力を注いでいく。

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業分類	事業名	主な事業内容	実施日	実施場所
国内外におけるスポーツ大会、イベントの運営協力事業	・アンコールワット国際ハーフマラソン(AWHM)後援 ・アンコールウォーキング大会	・スタディツアーの有志が参加し大会を盛り上げた ・参加者は85カ国・地域から9,150人と過去最高 ・遺跡内を地元の子供達と歩き、交流した	12月4日 12月2日	カンボジア (シエムリアップ)
	・チャリティイベント(スポーツイード)	・チャリティマラソンやバザーなどのチャリティイベントの開催協力(計21回)	4月～3月	日本
スポーツを通じた開発支援事業	・小学校体育科教育振興事業(JICA草の根技術協力)	・第3フェーズが9月で完了。4地域で評価を実施。最終の中央協議会を開催し、教育大臣に提言書を提出した	4月～3月	カンボジア 日本
	・小学校体育普及支援事業(岡山市CLAIR補助金)	・サブNTの日本での研修 ・日本の教員が現地で教員への体育実技講習会を開催		
	・中学校体育科教育指導要領作成支援事業(SFT再委託)	・体育科教育指導要領が完成し、教育大臣の認定を受けた。これで、小中一貫した体育科教育の基盤ができた		
	・中学校体育科教育指導書作成・普及事業(JICA草の根技術協力)	・1月から開始。関係諸機関の役割を明確にするワークショップと指導書執筆に向けての第一回ワークショップを実施		
	・スポーツ施設設置	・体育拠点小学校に施設を支援(鉄棒4校、マット44校に78枚、ボール84個)		
障がい者支援事業	・障がい者陸上支援事業(SFT再委託)	・日本から専門家を招き、障がい者陸上ワークショップとパラ競技会を開催 ・情報交換のためのオープンクラスを開催	4月～3月	カンボジア 日本
	・日本のマラソン大会への招聘	・障がい者ランナーをかすみがうらマラソンとおかやまマラソンに招聘		
被災地・紛争地における自立・復興支援事業	・日本語教育	・チェイ小学校での日本語教室 ・BBU大学での日本語講座	4月～3月	カンボジア (シエムリアップ) カンボジア 宮城県 福島県
	・養護施設(NCCC)運営	・孤児や貧困児童を受入れ養育する(里親制度)。 ・ローカルスタッフの人材育成 ・日本の学校との交流		
	・子どもの健康増進・疾病予防	・12月に日本人医師(TAO)による歯科検診(チェイ小) ・むし歯予防のための歯磨き指導 ・小学校に設置した浄水器のメンテナンス		
	・3.11子どもanimoプロジェクト	・被災地の2つの小学校に太陽光街路灯を設置		
	・4.14子どもanimoプロジェクト	・日本警察消防スポーツ連盟と協働で被災地支援		
国際理解・交流事業	・スタディツアー	・国際協力の現場見学とボランティア体験や交流により貧困・平和・開発について理解を深める ・学生や団体のスタディツアー受入れ(計29回)	4月～3月	日本 カンボジア
	・サービスマーケティング(ESD=持続可能な開発のための教育)	・学校や団体に講師を派遣(計20回) ・国際協力の実践的学習の場を学校に提供 ・スカイプや文通、メールによる現場との交流の機会提供	4月～3月	日本 カンボジア
	・研修・啓発・講演会	・国際協力パネル展に出品、講演会に参加(計18回)		
	・インターン受入れ(国内外)	・インターン・ボランティアの受入れ(短・長期)(計4人)		
その他、本法人の目的を達成するために必要な事業	・調査/研修 ・広報活動	・調査実施。シンポジウム、国際会議への参加 ・「通信」を年2回発行 ・ホームページの更新、記録映像の保存 ・NHK Worldの番組「Field Days」の制作に協力 ・20周年記念ブックレット作成準備	4月～3月	日本 カンボジア

(2) その他の事業

定款の事業分類	事業名	事業内容	実施場所	実施日
バザーその他 物品販売事業	・チャリティバザー ・グッズ販売 ・パネル展示	・各地で開催されるイベントへの参加。 ・Tシャツなどの販売やパネル展示を通して活動資金を集めるとともに、活動の広報を通して国内での支援者の拡大を図る。	日本	随時